

1. 平成 28 年度当初の計画 (簡潔に記載)

I. 教員の資質向上事業

- (1) 各種研修会 (2) 教員表彰 (3) 授業アンケート

II. 教育、研究環境の整備事業

- (1) 「授業アンケート」の効果的实施と教育改善
(2) 「大学評価アンケート」と「大学院アンケート」の改善
(3) その他 研究費配分 学内各種委員会の教員負担軽減・平準

III. FD 活動の全学的高揚事業

- (1) 各事業への参加率の向上 (2) 大学HPにおける本学FD 事業/活動および関連情報の提供

2. 平成 28 年度内に実施できたこと

I. 教員の資質向上事業

- (1) 新任教員説明会を入学式後(4/4午後)に開催した。また、7月8日に八木山、7月11日に長町にて「第12回教育改善シンジウム」を第1回FD 研修会と位置付け開催。7月15日に「第13回教育改善シンポジウム」を第2回FD 研修会と位置付け開催。8月3日のライフデザイン学部会議時に第3回FD 研修会を開催。8月5日の工学学部会議時に第4回FD 研修会を開催。8月26日に教務委員会・情報サービスセンター共催の講演会を第5回FD 研修会と位置づけ開催。3月24日に教務委員会・情報サービスセンター共催の第6回FSD 研修会を開催した。その他、各学部会議でのFD 活動、北海道科学大学との合同FD 研修会を実施した。
- (2) 教育部門の教員表彰(SD 科 中井講師・共通 高橋秀准教授・片山准教授)を実施した。研究/社会貢献部門の教員表彰(教職 小川教授/A 科 福屋准教授/A 科 石井教授)を実施した。また、平成 30 年度改正に向け教育部門の評価方法を見直す議論を行った。
- (3) Web入力方式に対応して、学生向け・教員向けの回答マニュアルを作成し授業評価アンケートを実施した。また、今年度から大学院でも同様に実施した。研修・セミナーを除く、全科目で実施し、受講者3名以上の科目の結果を公開し、評価の低い教員には、授業改善報告書の提出を要請し改善を図った。成績評価分布の配付については、各学科の日常的なFD活動に活用するための資料として今年度も配布した。

II. 教育、研究環境の整備事業

- (1) 各教員にスマートフォンによる Web 回答マニュアルを事前に配付し、できるだけ授業中に回答させるよう依頼するなど回答率の向上を図った。また、自由記述に対する回答について、公開用資料の空白や回答の必要がないと判断される記述に対して、事務局で統一した回答を表示した。
- (2) 平成27年度実施のアンケート結果の他、自由記述の主な要望に対する回答を公開した。また、平成28年度のアンケートは、教育部門の教員表彰の評価基準の改定に向け、設問を追加実施した。

III. FD 活動の全学的高揚事業

- (1) 研修会を欠席した教員向けに、e ラーニングシステムを利用した動画配信を行った。

3. 平成 28 年度内に実施出来なかったこと (その理由)

II. 教育、研究環境の整備事業

- (1) 後期分の授業評価アンケートについて、当初の計画である年度内に自由記述も含めた結果の公開ができなかった。速やかに情報公開を行いたい。
- (2) 大学評価・大学院評価アンケートについて、当初の計画である年度内での結果の公開ができなかった。速やかに情報公開を行いたい。
- (3) 研究費や学内各種委員会の教員負担の軽減策等は十分に対応できなかった。次年度以降に研究費の効率的な配分や各種委員会の編成などを代議員会にて協議していきたい。

III. FD 活動の全学的高揚事業

- (2) 大学HP内のFD 情報について、最新年度の情報を公表できなかった。公表されていない情報を整理し、速やかに情報公開を行いたい。

以上